

ASBJ プロジェクト計画表 (コンバージェンス関連項目)

2006年10月

項目	2006年 9月以前	2006年					2007年		備考	
		10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	2008年初	補足		
EUによる同等性評価に関連するプロジェクト項目(※1)										
補1	企業結合① (プーリング)		PT			RR	(DP)	△(○)	RR後DPを検討	
補2	連結の範囲① (SPEの開示)	専門委	ED	Final				◎	—	
	連結の範囲② (SPEの連結)						DP	○	IASB/FASB議論を踏 まえ検討	
補3	会計方針の統一 (在外子会社)	Final						◎	2006年5月に実務対 応報告第18号を公表	
B 4 A13	ストック・オプション (費用化・注記)	Final						◎	2005年12月に企業会 計基準第8号を公表	
(※2)	企業結合② (その他)		PT			RR	(DP)	△(○)	RR後DPを検討	
B8	棚卸資産 (後入先出法)			PT				△	2007年中に方向性を 決定	
	棚卸資産 (評価基準)	Final						◎	2006年7月に企業会 計基準第9号を公表	
B9	会計方針の統一 (関連会社)			PT			(ED)	△(○)	PT検討踏まえEDを検 討	
B10 A23	固定資産 (減損)			PT			RR	△	RR及びIASB/FASB 議論を踏まえ検討	
B11	無形資産 (含む開発費)	WG					DP	○	IASB/FASB議論を踏 まえ検討	
A17	工事契約	WG	専門委			ED	Final	◎	—	
A19 A24	資産除去債務	WG	専門委			ED	Final	◎	—	
A20	退職給付			PT				△	IASB/FASB議論を踏 まえ検討	
A22	金融商品 (公正価値開示)	WG	専門委			ED	Final	◎	—	
A25	投資不動産	PT						△	IASB/FASB議論を踏 まえ検討	
その他の関連プロジェクト項目										
	セグメント報告	WG	専門委			ED	Final			
	関連当事者開示	ED	Final							
	リース	試案	ED		Final					
	過年度遡及修正	PT			DP					
	四半期会計基準		ED	Final						

(注1)

「項目」欄

- ・左端欄にCESRの同等性評価に関する技術的助言の中での取扱いを示している。表記の意味は次のとおり(記号に付した数字は差異項目(26項目)に係る便宜上の連番)。
- 補 : 補完計算書(仮定計算ベースの要約財務諸表作成)
- B : 開示B(IFRSに従って会計処理した場合の定量的影響(損益又は株主持分への税引前後の影響)の表示)
- A : 開示A(日本基準で既に提供されている開示を補強する定性的・定量的情報の開示)

「備考」欄

- ・2008年年初の各プロジェクトの取組状況見込みを示している。表記の意味は次のとおり。
- ◎ : 終了
- : 委員会において検討中
- △ : PT/WGレベルにおいて検討中

(注2)

- ※1 CESRの同等性評価に関する技術的助言の中で補正措置が求められるとされている項目のうち、B12(農業)、A16(保険契約(異常危険準備金))、A18(不良債権開示)及び26(金融商品)については、ASBJのプロジェクトとしては取り上げていない。
- ※2 B5(交換日)、B6(取得研究開発)、B7(負ののれん)、A14(少数株主持分)、A15(段階取得)、A21(外貨建てののれんの換算)を含む。

PT 内部プロジェクト・チーム設置
WG ワーキング・グループ設置
専門委 専門委員会設置
RR 調査報告(Research Report)
DP 論点整理(Discussion Paper)
ED 公開草案(Exposure Draft)
Final 会計基準/適用指針等(最終)